

授 業 科目名	【 G 】	教養講義（メディア論）	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	教養講義（メディア論）	選 択			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	デジタル時代のメディア地図：新旧メディア交差					担当者	見崎 浩一	
授業概要	【概要】	【概要】 インターネットの登場と進化により、メディアの世界は激変し、現在も変化を続けています。 この授業では、まずSNSを中心としてネットメディアに焦点をあて、日常に密着したソーシャルメディアの魅力や課題、双方向コミュニケーションの新たな可能性を具体例を通じて議論します。 一方、テレビや新聞などの伝統的なマスメディアについては、歴史的発展の歩みと現状を踏まえ、これからのあり方を展望します。ネットメディアと伝統メディアの学修を通じて、メディアの未来を多角的に考察します。 【実務経験を活かした授業】 新聞に加え、テレビやインターネットなどの多メディアでの実務経験を有する教員が、メディアの進化とその社会への影響について学生たちと探求します。学生たちはマスメディアの変容や将来の方向性についても考察し、自らのメディア利用について考え直す機会も得ます。						
	【到達目標】	① ソーシャルメディアのコミュニケーション構造を理解し、、メリットとリスクを踏まえて主体的に利活用できる力を養うことができる。 ② マスメディアの成り立ちや社会的影響を理解し、現代との接点を検討した上で将来像を考察する視点を獲得することができる。 ③ ネットメディアと伝統メディアの相互作用を比較・分析し、情報の多角的評価や批判的思考力を育むことができる。 ④ ネットメディアとマスメディアがどのように競合・補完し合うかを整理し、両者の長所と限界を的確に見極めることができる。 ⑤ メディア史の流れの中で、技術進歩がコミュニケーションの質をどのように変化させてきたかを説明することができる。						
履修条件	特にありません。							
アクティブ ラーニング の方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【○】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		○ （やや当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	特にありません。							
教科書	授業中に、適宜、資料を配布します。							
参考書	藤竹暁、竹下俊郎(2018年)『図説 日本のメディア[新版]伝統ディアはネットでどう変わるか』（NHK出版） 藤代裕之(2019年)『ソーシャルメディア論 つながりを再設計する(改訂版)』（青弓社） 白土由佳(2024年)『はじめてのソーシャルメディア論』（三和書籍）							
評価方法	授業ごとの成果物や課題等を点数化して、加算方式で評価します。 各授業の振り返りと学習の成果物（15%）、授業演習課題（30%）、アクティブラーニングへの参加姿勢等（30%）、最終課題の成果物（25%）							
フィードバック 方法	Google Classroomを使用し、提出されたりアクションペーパーや課題等について、コメント等のフィードバックをします。							
評価基準	授業内容についてよく理解していると判断した学生にはその程度に応じてSまたはA、一部不十分な箇所がある学生についてはBまたはCとします。 授業内容への理解自体が不十分な学生については、その程度に応じてDまたはEとします。全欠席など評価不能の場合にはFとします。							

授 業 科目名	【 G 】	教養講義 （メディア論）	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	教養講義 （メディア論）	選 択		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス イン트로ダクション メディア激変時代・メディアとは						
	予習： メディアの概念と基本的な定義を確認する(60分程度)		復習： メディアの定義や役割についてまとめる(120分程度)				
2	ネットメディア① ウェブとソーシャルメディア						
	予習： 1日あたりのSNS利用時間等を書き出す。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
3	ネットメディア② 身近なソーシャルメディア						
	予習： 日常利用するウェブサービスを箇条書きでまとめる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
4	ネットメディア③ ソーシャルメディアとコミュニケーション						
	予習： SNSでどんなコミュニケーションをしているか整理。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
5	ネットメディア④ ソーシャルメディア史						
	予習： 主要SNSの誕生・推移年表を作る(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
6	ネットメディア⑤ SNSの功罪						
	予習： SNSのメリット・デメリット、トラブル事例を調べる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
7	ネットメディア⑥ SNSと選挙(政治)						
	予習： SNSを使った選挙活動の実例調べ、考察する。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
8	オールドメディア(トラディショナルメディア)① マスメディア(マスコミ四媒体)の現状						
	予習： 同じニュースを各メディアでどう報道しているか、比較。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
9	オールドメディア② 新聞の発達と市場構造						
	予習： 全国紙と自分の地元の地方紙の違いを調べる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
10	オールドメディア③ 新聞社のネット戦略						
	予習： 全国紙のネットサイトの無料記事/有料記事の違いをまとめる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
11	オールドメディア④ 地上テレビ放送発展過程						
	予習： テレビ放送の年表を、大型イベントを交えて作る(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
12	オールドメディア⑤ テレビ局のネット戦略						
	予習： TVerを視聴し、地上波放送との違いをまとめる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
13	オールドメディア⑥ ラジオの発達とネット戦略						
	予習： ラジオ放送開始からradikoまでの流れをまとめる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
14	未来のメディア① オールドメディアの行く末						
	予習： マスコミ四媒体は今後どうなるかをまとめる。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
15	未来のメディア② ネットメディアの将来						
	予習： 「SNSはどう進化する？」など、未来予想を書き出す。(60分程度)		復習： Google Classroomの復習課題に取り組む(120分程度)				
その他	新聞の1面に掲載されている記事を毎日読むこと。あるいはNHKのニュース(19時か21時)を毎日視聴すること。あるいはインターネットのニュース(Yahoo!ニュース)に1日10分以上、毎日接すること。 GoogleClassroomやGoogleフォーム等を活用します。						